

学校通信

一年の計は元旦に在り

学校長 本田 哲朗

あけましておめでとうございます。

新春を迎え令和になって二年目の御年が、災害にみまわれることなく、一人ひとりの生徒諸君に取り、大きな成長に繋がる年であります様に心から祈念します。

はじめに、我が国の文化には『一年の計は元旦に在り』と言う格言があります。これは、年の節目に自分の決意を持つ大切さを教えています。実際の所、計画なくして結果などある筈がありません。人が拘わる物事一切の理(ことわり)と言って良いでしょう。諸君も、この一年を充実した年にする為、具体的な目標と、緻密な計画を立てた事と思います。

さて、ここ数年間投げ掛けられていながら、昨年末になって大きく方針が変更された事があります。具体的には大学入試制度ですが、少なからず高校生活に影響を与えているのは事実です。教育行政面で揺れ動いているとは言え、高校教育の本質は変わりません。これまでの様に肅々と学校生活を送ってください。では、一体全体何故改革が必要なのでしょう。明らかなのは常に社会は変遷する事です。それは、私たちの意志とは無関係で、しかも常に起こっています。実際、その仕組みは解らないまでも、私達は利便性と快適性と言う名の恩恵を当たり前のように享受しています。背後にはAIとIotの進歩や、情報・生物工学に象徴される技術革新が想像以上の速度で進んでいます。そして、その少し先にSociety5.0社会の出現が置かれて居るのですが、そう成るか成らないかは別として、その為、教育改革が進められて居るのです。ともかく、変化に対応する事の大切さは理解してください。実際には、これまでの知識

(量)に加え、『思考力』・『判断力』・『表現力』が重視され、『最適解』を見出す力が求められます。従って、主体性やコミュニケーション・スキルが特に大切になります。

話題を変えますが、ここで少し自分自身と向き合ってください。この一年間で、意識や行動に何か進歩(変化)はありましたでしょうか?具体的に身に付いた学力、勝負で勝った経験やステップアップした資格等が…在ったかと言う事です。新春の箱根を駆けた箱根駅伝のある選手の言葉に、“この一時間数分の為に、この十年間頑張ってきたから”が在りました。真摯に自分と向き合った人しか口に出来ない真実ですが、この精神力は、学習とかスポーツの技術とか芸術のセンスに限った事ではありません。十年とは言わないまでも、せめて一年でも継続出来たら、必ずその先に見えてくるものが在る筈です。諸君は、気持ち一つで、この態度を学べる所に立っているのですから、時代の変化に後れをとる事の無い精神と力を身に付けるべく努力し前進しようではありませんか。

【It isn't the strongest of the species that survive, nor the most intelligent but the ones most responsive to change.】 Charles Robert Darwin
(最も強いモノが生き残るのではなく、最も賢いモノが生き延びるものでもない。唯一生き残ることが出来るのは、変化できるモノである。)
チャールズ・ダーウィン

<行事等日程>

- 1月14日(火) 3学期始業式
- 1月18日(土) センター試験(1日目)
- 1月19日(日) センター試験(2日目)
- 1月25日(土) 志望校検討会議
- 1月26日(日) 第3回英語検定1次(於:本校会場)
- 1月27日(月) 第3回英語検定1次(於:外部会場)
- 1月31日(金) 志望校検討会議
- 2月1日(土) 送別会
- 2月1日(土)～3年生自宅学習期間
- 2月6日(木) 卒業判定会
- 2月16日(日) ふれあいコンサート(於:福島学院大学宮代キャンパス)
- 2月20日(木)～成蹊展 26日まで(於:コラッセふくしま企画展室)
- 2月23日(日) 第3回英語検定2次
- 2月25日(火)～国公立前期試験
- 2月26日(水) B週月曜日授業
- 2月28日(金) 卒業式予行、同窓会入会式
- 3月1日(日) 卒業式
- 3月2日(月) 卒業式振替休日
- 3月3日(火)～学年末考査 6日(金)まで

2月16日(日)13:00～ 福島学院大学 宮代キャンパスにて 第21回 ふれあいコンサート 開催予定

【出演予定団体】

大笹生支援学校高等部、太陽学園、たけの子の家、父の夢、共同社業所ぼけっと、つばさ福社会「ドリーム・ニコ」アートさをり、福島敬香保育園、なのはなの家



ハーバード大学経営大学院交流会

1月13日にハーバード大学経営大学院の学生42名が来校され、腰浜キャンパスで中3生と一貫高2の英語プレゼンテーション、茶道部の呈茶を楽しんで頂きました。

中学3年1組 鳥羽 美妃(附属小出身)

今回の交流で感じたことはコミュニケーションは楽しいということです。福島とカナダの違いについてプレゼンでは、学生の皆さんの反応がとても良く、嬉しくなりました。一緒に昼食をとった時には分かりやすい英語でたくさん話しかけてくれました。上手に会話は出来ませんでしたでしたが、単語やジェスチャーで分かってもらった時、もっとコミュニケーションをとりたかったです。



高校2年10組 但木 ほか(西根中出身)

私たち茶道部は、学生の皆さんに点茶を致しました。私は部を代表してお点前を披露しました。とても緊張しましたが、ミスもなく楽しんで頂くことが出来ました。1年生にとっては初めてのお運びでしたが、学生の皆さんと上手くコミュニケーションを取りながらスムーズに進められました。これを機に日本の文化に一層興味をもって頂けると嬉しいです。

1月18日・19日 最後のセンター試験が行われました

高校3年2組 小賀坂 蓮(梁川中出身)

センター試験が終わり、今はその結果に応じて自分の志望大学を選択する時期になっています。私は今までやってきたことが何とか良い結果につながり、第1志望の大学を受験することになりましたが、センター試験が受験生のゴールではありません。担任の先生もセンター試験は終わりではなく始まりだとおっしゃっていました。私はその言葉で、改めて2次試験も頑張ろうと思いました。そして、私が何とか結果を出すことが出来たのは、最後の最後まで苦手分野を対策して下さった先生方や、万全のコンディションで試験を受けられるようにしてくれた両親のサポートの賜物だと思いますし、そのような人たちのおかげで私は志望大学の試験にチャレンジできるのだという気持ちを忘れずに、謙虚に、そして愚直に頑張っていきたいです。